

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和2年3月16日）

この度は、当該法人が運営するともいきライフ月影に於いて、第三者評価を実施して頂きありがとうございました。法人内においては、毎年度自己評価を実施し、法人内での委員会において相互評価をしてきましたが、改めて利益相反の原則からも、第三者による評価が必要との結論に至り、多くの評価機関がある中、実績のある「しなの福祉教育総研」をお願いしました。今回、初めての第三者評価受審ということで、不安なところもありましたが、最初から懇切丁寧な説明を頂き、安心して実施することができました。

評価より、経営環境の変化やサービスの質へのさらなる取り組み、福祉人材の確保、職員の質（スキル）の向上、地域の福祉向上への取り組み、利用者さんからの相談の受付への改善、自己決定プロセスの保障、コミュニケーション手段の工夫等足りていない部分をご指摘いただき、確認いたしました。今後、優先順位のもと、出来るところから利用者の皆さん、家族の方々、職員、地域住民の皆様、関係機関各位の方々と共に、改善に取り組むべく、精進していきたいと思います。

今回、評価一つ一つを振り返る中で、自己評価だけでは、見落としがちな視点や、客観的な視点など、評価を受け先ずは良かったとの印象です。評価の結果より、むしろその過程における検証や、取り組み状況への振り返りが真に重要な事、それが第三者評価を受ける最大の理由と分かりました。

最後になりましたが、評価実施にあたり、多くの利用者、ご家族、職員のご協力を得て実施できました。また、当事業所の強みと課題を見つけてくださった「しなの福祉教育総研」の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

社会福祉法人上田明照会

障害者支援施設：ともいきライフ月影

施設長：瀧澤 英知 ㊞